



中の外国語レッスン

新型コロナウイルス感染拡大防止により、まだまだ自宅で過ごす機会が多いかと思えます。そこで、自宅にいても外国語を学習する上でのポイントなどを全5回(隔月予定)でご紹介します。

第1回は、幼児・小学生を対象にした英語講座の講師「大橋 京子」先生をお迎えしました。



◎講師プロフィール

講師：大橋京子先生(養老町在住)
担当講座：幼児の英語・小学生の英語
私のStay Home!ストレス解消法：
韓国ドラマを見る、スマホのパズルゲームで遊ぶ、小川糸の小説を読む、バッハの音楽を聴く

【就学前の子ども、小学生をもつ保護者さんへ】

Q. 英語を学ぶ際のポイントは？

言語を習得する過程の第一歩は「音」です。私たちが日本語を話すようになるのも、周囲の人の日本語を聞いて意味も分からず物まねするところから始まりますね。そして、自然にその発音の仕方も習得する。幼い子どもにはそれが可能なのです。子どもたちは大人と違って、何の疑いもなく意味を問うこともなく音を体に吸収することができるのです。ですから、できるだけ多くの英語の音に「つかる」ことが、子どもたちには効果が大きいと思います。

Q. その方法は？

今はSNSが充実し、オンラインで英語に親しむことができるようになりました。(しかも無料で！)このオンライン教材をうまく使うことがお勧めです。私たちの講座にも取り入れているフォニックス※を用いたサイトもYouTubeにあります。就学前の子どもに大切なのは、画像とともに音を聞いたり歌ったりして、体の五感に訴えることです。また、英語で聞ける子ども用TV番組を見せるのもいいですね。

※フォニックス(Phonics)：英語圏の幼稚園、小学生が英語の音と文字のルール(関係性)から、英語の正しい読み方を学習する方法

【中・高校生以上の子どもをもつ保護者さんへ】

Q. 英語勉強法のポイントは？

やはり「音」ですね。つまり「音読」。ただし、大きくなると意味の分からない英語を繰り返し声に出しても上達しないと思いますので、まず内容を理解し、それをスラスラ読めるまで音読しましょう。可能ならば、ネイティブが話すのを聞いてそれを真似るのがいいと思います。間違った音で覚えてしまうと、リスニングもできなくなりますから。それから、英語の意味を取るときには、日本語に訳してからではなく、「英語の語順」のまま理解していくことが大切です。それができるようになると、ネイティブとの会話も理解が早くなると思います。

Q. その方法は？

易しい英語の絵本を音読するといいですよ。また、スマホなどに自分の好きなPodcastの番組を入れて、継続して聞くことをお勧めします。私も愛用しています！

◎続きは、次回(9月号)に掲載予定です。

問 生涯学習課 ☎32-5086